

ともしえ

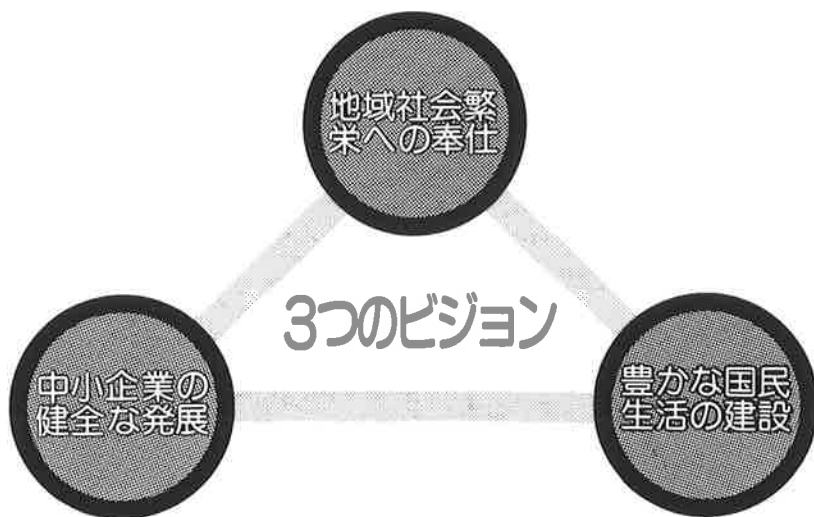
No. 68



■函館商工会議所報■

1986 9月号

行動する
はつらつたる
商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

●ともしこ・68号目次●

視点	1
会議所の動き	2
地域の景気	6
調査レポート	8
アドバイスコナー	10
寄稿文	12
Q & A	14
情報コーナー	16
ティータム	18
ご案内	20



●視点

すがすがしい秋の季節となりました。今年の前半には不順な天候もありましたが、何とか平年作に近い収穫が期待できそうです。

ところでわが国の産業構造の高度化は、一面では農業等の近代化により生じた一次産業の余剰人員が、二次・三次産業に就業することで進展してきました。この背景には高等学校進学率九十五%など、世界に誇り得る高度の教育水準も大きな影響力があつたと思います。

一方わが国は急速に高齢化時代に突入し、平均寿命も男七十五歳、女八十歳と世界で一、二を競う程になりました。しかし世界で例を見ない速さで高齢化が進んだため、多くの問題も生じてきていますが、いずれにせよピークに達する二十年位あとには、六十五歳以上の人口は二十%を越し、現役二・五人で一人の老人の生活を支えなければならなくなるといわれております。そこで高度な教育を受け、知識経験豊かなこの老人パワーは、体力には限度がありますが、その能力に応じて社会に尽くして戴いてこそ、生きがいも生まれましょうし、健康の保持にも役立つことと思えます。またこのことにより報酬を得ることができれば、これは年金の節減にもつながるのではないでしようか。

とにかく、働ける人にはその分にに応じて働いてもらうことが、社会のために今後必要であることを意識して戴き、二十年後のピークに向って、その働く場を作り出すことに、今から努力していかなければならないと思えます。



会議所の動き

決議事項を実現促進のため

中央省庁へ陳情

第二十四回 北海道・東北商工会議所連絡会議

第二十一回北海道・東北商工会議所連絡会議が去る九月四日、空知の行政・経済の中心地である滝川市で開催され、東北二十六、北海道四十商工会議所から二百余人が出席、本所からは川田会頭、高野副会頭、平野専務理事が出席

しました。

次いで本会議が開かれ、それぞれ地区大会で決議された案件を協議し、次の七項目について採択決議され、近々中央省庁へ陳情することになりました。

会議終了後、記念講演があり、講師の国土庁計画調整局長星野進保氏は「四全総における北海道・東北の役割」と題し、四全総策定に留意した点は、(一)国際化(二)定住と交流(三)高令化社会の到来に対する準備であるとなりました。

国際化については、高度成長時代を築いた時期は重化学工業進展時であったが、今後の問題としては国際化の推進こそそれに相応するものである。また三全総の定住圏構想に加えて、地域(地方)自らの創造性をもったイベントの交流が必要である。さらに高令化社会の対応として今後の二十年は

そのための蓄積の時期である旨を強調しました。

(北海道側提案分)

(一)景気対策の推進について

(二)東北・北海道縦貫横断自動車道の建設促進並びに道路網の整備促進について

(三)北海道東北開発公庫の機能の拡充強化について

(四)北方領土の返還要求運動の促進について

(東北側提案分)

(五)東北・北海道新幹線の建設促進並びに鉄道交通網の整備促進について

(六)東北・北海道の空港並びに航空網の整備促進について

(七)工業再配置政策の強化拡充について

※四全総Ⅱ第四次全国総合開発計画。

本所にファクシミリが設置されました。

FAX番号

(〇一三八)二七一六一九二



第21回北海道・東北商工会議所連絡会議=提案する川田会頭 (於滝川市)

「函館ソフトウェア専門学院」

来年四月に向け大綱決まる

本紙七月号で報じた通り、テクノポリス函館を拠点とする南北海道が二十一世紀へ向けて新たな飛躍をするためには、高度情報化時代に即応できる優秀な人材を地元で養成することが急務であるとの要請にこたえ、「函館ソフトウェア専門学院」の事業計画が、去る八月二十五日開催の発起人会において正式決定をみました。

同学院の母体となる「株式会社函館情報技術開発センター」は先般定款の認証を終え、十月中には発足する運びとなります。

同学院は明春四月開院を目指し田家町の函館市工業指導所跡地に建設すべく諸準備をすすめています。

学科設置計画によれば、情報産業、一般産業における業務処理用プログラマー、システムエンジニア養成の**情報処理科**、**情報社会が**

より高度化することに対応するハードウェアの設計技法や制御用システムのプログラムを開発する技術者養成の**情報技術科**、新しい通信分野に対応できるシステムエンジニア、通信用ソフトウェア技術者を養成する**情報通信科**の各二年制三科で各科定員三十名、ほかに一年

地域活性化を目指し

商業・工業診断始まる

過去二度にわたるオイルショックと二〇〇海里経済水域問題は、当函館市の基幹産業であった造船

鉄工、北洋漁業関連産業に大きな打撃を与え、産業構造の大きな変換を余儀なくせしめました。

この変革に対応し産業構造のアンバランスの是正を図り地域経済

制のコンピューター経理科、定員二十名で発足する予定で目下カリキュラムを編成中です。

入学対象は、高校卒またはそれと同等以上の学力を有するものとし、近く各高校並びに教育関係機関に対し広報活動を行うことになっていきます。

同学院で養成され即戦力となる優れた人材が、地域社会の活性化に果たす役割は極めて大きなものがあると今から各界の期待を集めております。

の再活性化をすすめるためテクノポリス函館の推進に取り組んでいることはご承知の通りです。

このたび、函館機械金属造船工業協同組合連合会では傘下の六単組の若手経営者が中心となり、各業界の現状把握と、テクノポリス推進と相俟って、今後の地場産業

の高度化は如何にあるべきかを解明し、進むべき方向付けを確立するため、函館地区鉄工業界診断を実施することになりました。

この診断は北海道が実施機関となり、道商工指導センターが担当し、市と会議所が協力して既に八月中旬から開始しております。

一方、昭和六十三年に青函トンネルを經由し本州から現函館駅へ特急電車が入って来るといふ大きな地域環境の変化に対応し、駅前再開発と地域商店街の体質改善を如何にすすめるかを見極めるため、函館都心商店街振興組合と函館朝市連合会が協同して駅前地区商店街診断を受けることになり、工業診断と同じ実施機関のもと、こちらも八月下旬から診断を開始しました。

商・工業診断が期せずして同時に行われることになりましたが、あらゆる面で転換期を迎えている当市にとって、両診断の結果に示めされる勧告に積極的に取り組むことこそ、地域活性化の鍵となるものと期待されます。

青函博に向け気運高まる

観光サービス部会開催

本紙既報の通り、青函博の基本計画が公表されましたが、観光サービス部会では去る九月二日、青函トンネル開通記念博覧会事務局より平原康宏局長をお招きし、基本計画の説明会並びに懇談会を開催しました。

青函博は昭和六十三年七月九日～九月十八日までの七十二日間、函館ドック跡地をメイン会場に「新たな交流と発展―北の飛躍をめざして」をテーマに観客動員百五十万人を目標に開催されますが、低迷を続ける当市の経済活性化の起爆剤として大いに期待されているところです。

同局長は、博覧会の効果は単に経済的な波及効果にとどまらず、知名度、イメージアップ、生活環境、都市環境の改善、市民の連帯意識の昂揚、国際交流の活発化などをあげ、また、成功の要因とし

ては三つの気、天気、人気（目玉の施設、話題性）、やる気（市民の盛り上り）が必要であること、函館らしさ、オリジナリティを持つこと、入場予定の半数を前売券

道と活発な意見交換行なう

流通問題懇談会開催

「函館商工会議所・函館卸商連盟 共催による流通問題懇談会が、九月九日（火）午後一時三十分から坂上英世道商業流通課長を招き本所会議室で開催され、出席した二十社の代表等との忌憚のない意見交換を行いました。

懇談会に先だち坂上課長が「北海道卸売業の現状と問題点」と題し具体的な事例・数字等を交えて説明したほか、道産品の販路拡大に対する道の取り組みについての

た。

で消化すること等をあげていました。出席者からは会場までの交通アクセスの問題、宿泊の問題、安全管理、PR方法など様々な角度からの発言がだされ、また、成功させなければならぬという使命感を感じているとの発言が出されるなど、博覧会開催に向けての気運の盛り上りを感じる会合となりました。

講話を行いました。

講話に続き奈良平氏（函館卸商連盟副会長）をコーディネーターとして懇談が行われましたが発言の概要は次の通りです。（発言者は企業名記載）

（株）仲煌商事Ⅱ町の依頼をうけ一村一品のための商品開発に協力してきたが、この運動の推進にあたっては、指導する町村自体にもっと企業的感觉を身につけてほしい。また製品の付加価値を高める

ためには異業種による共同開発機構的な機関の設立を望む。

（株）はこだてわいんⅡ物産展等への積極的参加と販売地の流通機構の有機的な活用によって販売網の拡大に役立てた。

（株）丸又和田商店Ⅱ道産清酒の消費拡大策として毎月十八日を「道産清酒の日」と定め販促活動を行っているが、函館は地域的に東北との係わりが強く、今後同地区への販路拡大に努力したい。

（株）藪下機械店Ⅱ暖房機器を例にして現状説明し、道内にも優秀なメーカーはあるので道産製品の販路拡大のために優先発注など道の強力なバックアップを要請。

前側石油（株）Ⅱ軽油取引税（卸売業者が道に納付）について、その交付率の引き上げと交付手続の簡素化等につき道の再検討を要望。

以上、活発な意見が出され、コーディネーターはこれらの意見を企業経営の上で有効に活用いたたくとともに、行政においても地元の声の声を今後の道政に反映していただきたいとして懇談会を締めくくりました。



事務局日誌

8月

◇正副会頭会議

- 15日 第18回正副会頭会議
- 28日 第19回正副会頭会議

◇会議

- 19日 小企業等経営改善資金審査会

◇諸会議

- 2日 駅前商店街診断打ち合わせ
- 5日 オーストラリアレイクマコーリ市親善使節団晩餐会
// 函館地域ニューメディア推進協議会設立準備会
- 6日 地域開発問題に関する座談会
// 青函連絡船フェア開催事務打ち合わせ
- 7日 ㈱函館情報技術開発センター設立発起人懇談会
- 8日 昭和61年第2回函館市都市計画審議会
- 12日 販売士協会理事会
- 15日 経営者協会金曜会
- 18日 社北海道土木協会河川懇談会
// 新都心五稜郭協議会「夏期例会」
// 駅前商店街第1次診断
- 19日 市民生協問題に関する協議会
// 婦人会役員会
- 20日 函館卸商連盟役員会
- 22日 昭和61年度鉄道貨物協会四支部連絡協議会
// '86道南地域ニューフロンティアフェスティバル事前打合せ会議
- 25日 函館市大型店舗出店対策協議会
// 第2回はこたて冬のイベント実行委員会
// 青函トンネル資材協力会・副会長会議
// 青函連絡船「函館フェア」
// ㈱函館情報技術開発センター発起人会

- 26日 函館繊維商組合役員会
- 29日 道南地域ニューフロンティアフェスティバル
// 北海道生命共済振興会事務担当者会議

◇講習・催物

- 5日 特別講演会～産業構造の変革と日本経済
- 15日 北海道東北開発公庫第2回相談室
- 21日 中島商店街記帳講習会
- 22日 経営戦略セミナー

2・4金曜日 法律相談室

2・4水曜日 経営相談室

3水曜日 発明相談室

4火曜日 労働相談室

◇刊行物

- 20日 所報「ともえ」No.67(8月号)発行

◇相談・診断

- 金融214 税務79 経理51 経営192
労働9 取引0 その他3 計548

◇貸室

- 本館14 別館4

◇文書

- 受信216 発信17

◇慶弔・その他

- 1日 函館港まつり(開港128年記念)
- 2日 函館港まつり協賛踊り舞台あいさつまわり
- 4日 函館港まつり協賛役員1万人踊りパレード参加並びに開港友好都市ミスとの交流レセプション
- 7日 函館海洋倶楽部創立80周年記念式典祝賀会
- 8日 函館海洋倶楽部80周年記念回顧展テラブック
- 21日 警察行政懇談会
// 東邦生命保険相互会社謝恩の夕べ
// 本所常議員平形由勝殿逝去

PHOTO CINE & AV
image
PRODUCTIONS

道映写真 INC.

- 本社 ●放送制作部 ●第1スタジオ
函館市日吉町2丁目6-12 ☎(0138)56-0733
facsimile 56-0648
- 第2スタジオ ☎(0138)55-0092
函館市東山町210-47
- 現像所 ●営業本部 ☎(0138)51-9295
函館市日吉町2丁目31-18 facsimile 54-5258

ち直していることから、減産を緩和。

(乳加工品)

業界の増産に伴う需給地合い引き緩みから、需要最盛期にもかかわらず荷動きが盛り上がりを欠き、市況も弱含んでいる。このため生産は引き続き抑制的。

(漁 網)

イカ刺網や秋サケ産定置網の更新需要は比較的順調ながら、北洋漁業規制強化や魚価低迷を映じて底引網やイワシ旋網等に対する漁撈筋の発注姿勢が依然慎重なことから、減産を継続。

(その他の製造業)

合板は、高級品の引き合いが増加傾向にあるほか、原・燃料コストの低下等を映じた採算好転もあって引き続きフル生産。セメント、生コンの生産・出荷も順調。

(建設関連)

管内主要官公庁の公共工事発注状況は、一部官庁では7月末時点で上期発注目標を既に達成するなど昨年と比べかなりのハイペースで進捗(7月末発注率71.7%〔前年69.3%〕)。また、住宅着工も、マンション、アパートを中心に比較的堅調な動きを持続。

(農 業)

農作物は7月後半以降の天候回復から、このところ全般的に成育が進み、これまでの成育遅れをかなり挽回しつつある模様。

(漁 業)

漁最盛期入りの近海マイカ漁は、依然まとまった魚群形成がみられず、水揚げ量が既往最低水準にあった前年の1/3程度に止まっている。このため、魚価は前年比3割方上回る高値を呼んでいる。

(小売商況等)

7月中の市内大型小売店(10か店)の売り上げは、中元贈答用食料品、身回り品、雑貨等が堅調な売れ行きを示したものの、天候不順により衣料品の動きが鈍く、月中ではほぼ前年並み水準(前年比△0.2%)に止まった。8月入り後については、暑気到来もあって夏物衣料品が好売れ行きを示すなど比較的順調な模様。自動車販売(含む軽自動車)が軽自動車の好調持続等から、4か月連続前年を上回った(7月中管内自動車新車販売台数前年比+3.3%)ほか、家電販売もエアコン、扇風機等季節商品は不冴えなもの、大型カラーテレビ、VTR等を中心に順調な動きを続けている。夏場観光・レジャー面では、港まつりや主要観光地が多くの人出で賑わったほか、交通機関利用客や宿泊客も前年を上回るなど総じて好調裡に推移。

3. 金融事情(7月中)

○管内金融機関の実質預金は、前月末滞留をみた公金預金や法人流動性預金が剥落したほか、個人預金の取り崩しも目立ち、月中86億円の減少(前年は月末休日高止まり分の反動落ちが響き136億円減)。

一方、貸し出しは、賞与資金、原魚買付資金等の季節需資に盛り上がりが見られない。建設・卸売等の一部回収もあって、月中7億円の減少(前年41億円減)。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利はプライムレート引き下げに伴う利下げ交渉がなお尾を引き月中△0.052%と引き続き低下(前月△0.080%)。

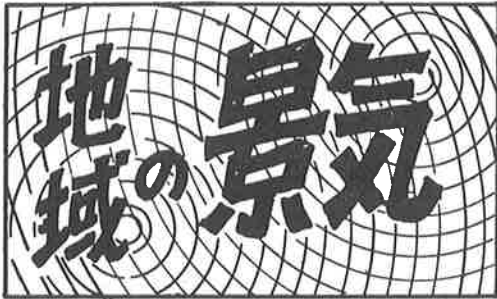
○銀行券は、公務員ボーナス資金、月末決済資金、夏場観光・レジャー資金等を中心に順調な還流を示したため、月中105億円の還収超(前年同87億円)。

○財政収支は、公共事業関係費の支払が増加したものの、租税、保険、郵便局等の受け入れが嵩んだため、月中13億円の受超(前年同7億円)。

以 上

7月

昭和61年8月28日発表



日本銀行函館支店

1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、公共工事の活発化に加え、夏場観光・レジャーの盛り上がりや耐久消費材の売れ行き堅調等個人消費も底固い動きを示している一方、企業の生産活動が一進一退を繰り返しているほか、近海マイカ漁不振といった沿岸漁業の厳しさもあって、全体としては引き続き盛り上がり欠ける展開となっている。

○すなわち、企業の生産活動面では、造船、漁網が受注低迷から、減産体制を敷いているのをはじめ、乳加工品でも荷動き不振から生産を抑制、またこれまで高操業を維持してきた製缶機械では、このところの受注鈍化から操業度を引き下げている。これに対し、電子部品、合板、合板機械、化学肥料、珍味加工等では需要の根強さを背景に高操業を維持している。農作物はこのところの天候回復から成育が持ち直しつつあるものの、近海マイカ漁はこれまでにない不漁の模様。この間、個人消費面では大型小売店の売上げが夏物衣料の不振を主因に伸び悩んだものの、自動車・家電販売は、堅調を持続し、夏場観光・レジャーも好調に推移。

金融面では、賞与資金、原魚買付資金などの季節需資をはじめ全般的に資金需要は落ち着いており、管内銀行の貸出約定平均金利も引き続き低下。

2. 主要業種別動向

(造船)

陸上部門では公共工事を中心に比較的順調な受注をみているものの、親会社からの新造船の繰り回し受注がとだえているうえ、修繕船受注も鈍っているため、下請け工員の削減や本工員の技術研修実施等により操業度を引き下げ。

(電子部品)

業界の増産・拡販の動きに映じてここへきて市況は再び軟化しはじめているものの、産業ロボット、OA機器、VTR等の末端実需が根強く、荷動きは順調で生産は高水準。

(珍味加工)

夏場行楽・レジャーの盛り上がりに加え、製品価格の値頃感もあって、消費地問屋筋からの引き合いが活発。このためフル生産体制を維持。

(化学)

飼料・魚油では、飼料の市況低迷・荷動き不振が続いているものの、道東沖イワシ豊漁に伴う原魚安を背景に魚油輸出の大口商談が成立したため、減産幅を幾分緩和。化学肥料では、農家筋が追肥や農薬の手当て買いを活発化しているため、時間外勤務の拡大によりフル生産。

(機械)

製缶機械では、缶詰の輸出不振を背景に引き合いが鈍化傾向にあるため、時間外操業の短縮等により操業度を幾分引き下げ、合板機械では、国内大手合板メーカーを中心に合理化・省力化を企図した設備更新の動きが根強いいため、依然フル生産を持続。

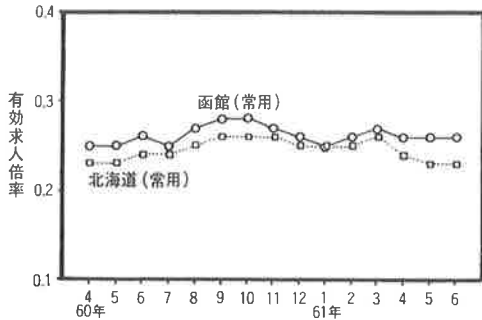
(段ボール)

マイカ漁不振等を映じて、水産物向けの荷動きは依然鈍いものの、馬鈴薯等の出荷期を控え農家筋の発注姿勢が幾分持

は1,998人で同0.5%増加し、有効求人倍率は0.26倍で前年同期より0.01ポイント上昇。

また今期の新規求人数(常用)は1,953人で前年同期に比べ6.9%減少、月平均充足数(常用)が374人で月平均充足率は(有効求人数に対する充足数の比率)は18.7%(前年同期19.2%となった)。

図-2 雇用情勢



6. 金融情勢

函館管内金融機関(都市及び地方銀行、相互銀行、信用金庫)の61年6月末現在の預金残高は7,742億5,100万円(前年同月比1.6%増)、これに対し貸出総残高は5,389億5,100万円(同4.1%増)で預貸率は69.6%と前年同月に比べて1.6ポイント上昇している。預金のうち定期性預金は5,983億1,000万円(同2.7%増)で、預金残高に占めるウエイトは77.3%と前年同月より0.9ポイント上昇して

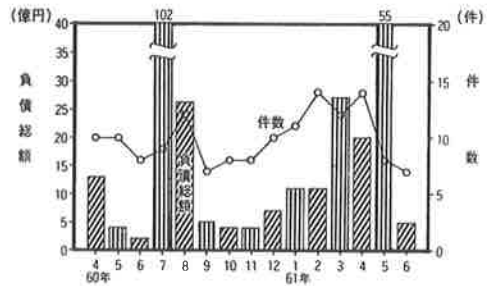
いる。また貸出金のうち設備資金は1,385億8,600万円(同6.3%増)で、貸出金に占めるウエイトは25.7%で前年同月より0.5ポイント上昇している。

7. 企業倒産

第1・四半期の函館管内企業倒産(負債額1,000万円以上)は29件で前年同期より1件の増加にとどまったが、負債総額は80億4,200万円と前年同期の4倍にも達している。これは5月に大手建設業者が負債48億余りを抱えて和議申請したことによる。

業種別では建設業8件、63億9,100万円、製造業5件、5億4,000万円、卸売業4件、3億円、小売業7件、1億7,500万円、飲食業1件、3,000万円、その他が4件、6億600万円となっている。

図-3 企業倒産



統計資料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高(10店) 昭和61年7月

品目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,915,565	114.5	96.7
身体用品	588,670	125.7	119.6
雑貨	1,075,714	118.3	101.8
家庭用品	705,515	112.9	101.5
食料品	1,865,766	121.2	99.6
食堂・喫茶	181,634	104.8	93.5
コンビニ	66,788	115.2	86.1
その他	318,705	130.7	96.4
合計	7,718,357	117.6	99.8

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパズプラザ湯の川店の各店をいう。

経済の窓

函館地域の
経済動向

(61年度4～6月期)

昭和61年度第1・四半期の函館管内経済動向は、公共投資、建築投資がやや活気を取り戻しているものの、生産活動では円高による関連業種への悪影響も見られるなど一進一退の状況。個人消費も乗用車販売が堅調となったが、大型小売店販売額は停滞気味で明暗を区々にしている。また企業の業況感にも停滞ムードが色濃く、全体に盛り上がり感をい欠て推移している。

1. 公共事業発注状況

昭和61年度の函館管内公共事業関連予算額(年度当初)は総体で約596億円とほぼ前年度(594億円)並。

また、第1・四半期迄の発注額は383億3,800万円で前年同期(371億3,400万円)に比べ12億400万円の増加、発注率は64.4%(同62.%)となった。

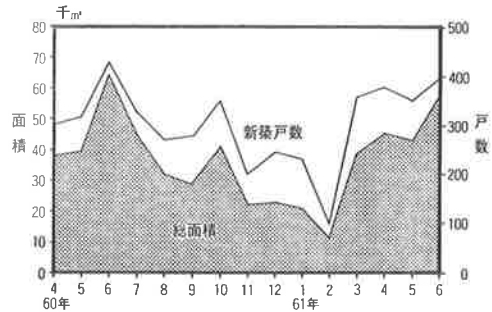
機関別にみると、函館開発建設部が発注額243億4,500万円、発注率72.6%で前年同期(223億700万円、69.2%)を上回る実績、函館土木現業所でも発注額が123億6,700万円、発注率は59.6%と前年同期(118億6,100万円、57.2%)を上回った。一方、函館市では予算編成の遅れた事情もあり、発注額が16億2,600万円、発注率も20.2%で前年同期(29億6,600万円、32.8%)よりさらに減少している。

2. 建築着工状況

第1・四半期の函館市内建築着工状況は建築物床面積合計が145,199㎡で前年同期に比べ2.9%の増加、うち住宅部分は107,904㎡で同6.3%増加している。住宅総戸数は1,293戸で同2.5%の増加、うち新築は1,116戸で同

7.7%増加しており、内訳は持ち家が482戸(前年同期比5.5%減)、借家522戸(同38.1%増)、その他112戸(同24.3%減)。

図一 建築着工状況



3. 電力需要

第1・四半期の函館管内電力消費実績は2億495万KWHで前年同期に比べて1.7%の減少、うち産業用電力は1億1789万KWHで同4.9%の減少となったが、輸出入関連業種では操業率を引き下げる等円高の影響によるところが大きくなっている。

4. 個人消費

①大型店売上高

第1・四半期の函館市内第一種大型店売上高(ニトリ家具を除く)は、総額で204億9,124万円、対前年同期増減率0.0%と横バイ状況衣料品が天候不順を映じて不冴えとなり81億3,161万円(前年同期比0.2%減)、食料品も引き続き伸び悩みをみせ48億1,961万円(同0.6%減)と主力二品目が盛り上がりを欠いている。

②新車登録台数

第1・四半期の管内新車登録台数は6,955台で前年同期比10.3%の増加と好調。

車種別では、3年車検期限接近の買替え需要もあり普通乗用車が4,608台、前年同期比4.3%の増加と堅調、根強い人気の軽自動車も1,704台、同20.7%増と順伸している。また、長期間低迷が続いていた貨物等でも643台、同35.1%の増加と(前期1～3月期)に引き続き持ち直しの気配をみせている。

5. 雇用情勢

第1・四半期の函館職業安定所管内の月平均有効求職者数(常用)は7,783人で、前年同期に比べ2.3%減少、月平均有効求職者数(常用)

ヒントぴんと

榮 繁

労務管理について

労務管理とは

楽しい職場を作り、労使の安定と円滑化をはかり、好意と信頼との上に立って皆で仲よく、力を合せ、会社の目的を達成することです。

(1) 定義

企業がその目的を達成するため

① 企業の秩序の安定と維持

② 社員一人一人の労働効率と意欲の向上をはかるための

③ 種々の施策と云われています。

わかり易く云えば 人を採用し仕事につけてその仕事に必要な知識、技能を身につけさせ、働いてもらい賃金を支給し、明るい、



会社の目的は

① 社会に貢献する（人のために役立つ）

② 利益をあげる（儲ける）

③ 存続していく（つぶさないようにする）

の三つです。

人が入社し、退職するまでの間、その人がもっている力を、十分に出して働いてもらうための、色々な方法と云えます。

(2) 目的

企業の秩序の安定と、それを維持し、そして、個人または集団で最大の力を出し切って働いてもらうために労務管理が必要になってくる。これは一人、会社のためばかりではなく世間のためにもなるのです。

一番基本になる考え方は

「人を尊重する」と云うことです。

人を使うほど難しいものはない、そして一人一人、考え方も、経験も、みんな違うのです。

労務管理には方程式がありません、一人一人皆違うからです。

労務管理は、総務、人事、労務

中国一品料理の店

回各種ご宴会・ご会食にお座敷をご利用下さい。(40名様迄収容できます)

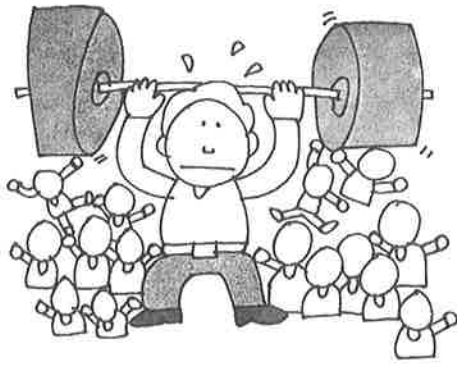
回中華仕出し料理承ります。

祝事・ホームパーティー等にご利用下さい。

中国料理

東春

松風町2-12(スカラ座向い)
TEL 22-5750



の係の人にまかせておけばよいものでもありません。

人を一人でも使うときから、部下を一人でも持つようになったときから、労務管理が始まるのです。

ここで注意することは、人は自分の意志でこの会社に入社したいと思っただけで、職場への配置は、一方的に決定され、そのほとんどは、自分の気持ちに関係なく行われるのです。その時の職場の上司によって、配属された部下の人生が決まると云うても過言ではないような気がします。

人を一人でも使う人は、それ相

当の人格者でなければならぬと云うことです。

部下がついてこないために、日夜悩んでいる上司がいらっしゃるのです。

自分一人で立派に仕事をしている人は沢山いますが、人を使って仕事をすることは少ないです。一人は一人分の仕事しか出来ません、部下の協力を得て、効率的に仕事の成果をあげて行くことです。二人で三分分、五人で十分分の仕事をするのです。

(3) 人が一番高い

年々利益が少なくなっている中で、人件費をはじめとして、社員のために使われる費用はふくれ上っています。

人が入社し、退職する間にかかるお金は、膨大なものであることは想像できません。

高い費用をかけて採用し、教育訓練し、給与・賞与を払い、退職金を用意して、働いていただくわけです。

採用のとき、人であれば誰でもよいと云うことにはならないのです。少くとも会社の目的達成のため



めに役に立つ人と云うことになるのではないのでしょうか、また、将来への期待をかけて採用することになるのではないのでしょうか。

労務管理は人を採用し、その人が退職するまでの間のことだけでよいのです。そして全国民を相手にするのはないのです。会社に入社してきた人だけのことなのです。

社員の家族をも含めた労務管理が理想だとも云われています。

人を扱うことは、大変むずかしい、難しいからと云って、さけることは出来ないのです。

63年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政名

〒112 東京都文京区白山6-17-7 早川ビル 電話 (03) 946-0531 <代表>

発明相談 10月15日水曜日午後1時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。
相談は予約制になっていますので、商工会議所相談課 (23-1181 内線63番) にお申し込み下さい。



リーダーは周到な計画を

会議を減らす工夫も

上手な会議の進め方

キャノン研修センター所長 井田 一郎

研修会の席上で「会議がうまく行かない原因は何か」を受講生に考えてもらおうと、その七〇〜八〇％は会議リーダーのやり次方第で解決もしくは軽減できることであるのがわかる。もちろん参会者の心ない言動によって会議がメチャクチャになることもあろうが、会議を効果的に進めるにあたって会議リーダーの役割は極めて大きいものがある。会議のリーダーは単なる議長ではない。「会議」という大変有効ではあるが、反面大勢の人を拘束するという負担の大きい手段で仕事をなしとげる重要な役割を負っているのである。したがって、会議リーダーは周到な計画と注意深い運営で会議にのぞむ必要がある。

会議の計画を立てよ

日時・場所・参会者・議題・資料などの計画を立てることはもちろんであるが、特に

①目的をはっきりさせるといことが大切である。会議の目的は「会議をやった結果どのようなになってもらいたいのか」ということである。これを数十字で明確に紙に書いてみるとよい。「○○対策」とか「○○間の調整」などという抽象的な言葉ではダメであって、「○○に関するA部門とB部門の間の意見の合致点と相違点を明らかにして、相違点について両者の納得のいくような見解の一致を発見する」などのように明確に述べるこ肝要である。

②討議の進行プランを作る——全員にどのようにして情報を提供し、どの点について討議をしてもらい、結論にどうやってもっていくか、などをあらかじめ考えておくことである。実際の会議は必ずして予定した通りには進まないかも知れないが、自分の計画というものがなくては、計画の変更というものもあり得ないことになる。この進行プランが手もとにあれば、脱線しても意識的にコントロールすることができる。

会議のリードをたくみに

会議をうまくリードするには場数を踏んで体験を積まなくてはならないが、次の点に習熟すればかなり改善されるものである。

①質問の技法を活用する——日常会話において質問とは、自分の知らないことを相手にたずねることであるが、会議におけるリーダーの「質問」とは討議してもらいたいことの指定である。「この部品の修理はどんな方法でやればよいのでしょうか?——技術課のAさんいかがでしょうか」「ほかにもっとアイデアはありませんか?」「この結果予想される事態はどんなものでしょうか?」などとリーダーは質問を発することによって議事を進めて行く。やたらと説明の多いリーダーは上手な進行者とはいえない。

②脱線に注意する——脱線は楽しい。自由な雑談に近くなるからである。それだけにリーダーは脱線防止に気を配らなければならぬ。会議リーダーは会議に対してそれなりの責任を負っているのだから、話を本題に引き戻すためにはっきりとしたことを言ってさしつかえないのである。

結論をはっきりさせよ

「ではそういうことに致しまして…」で会議を終えてはならない。結論を改めて明確に述べなおして、できれば黒板を使う

なりして確かめる必要がある。五分以内でまとめて表現できるようにでなければならぬ。世なれた人の中には上手に結論をぼかしてウヤムヤにしてしまう術を心得た人もいるから注意すべきである。

会議がすんだら反省を

Plan-Do-SeeのSである。反省をしなければ上達はあり得ない。場数を踏むといっても一回一回の会議が経験となるようにしなければ何もしない。もし参会者の勝手な言動に悩まされたならば、次回からはそれをどうやってコントロールするかの方法を考えて試してみるようにすべきである。

会議は極めて有効なコミュニケーションの手段であるが、負担も大きいものであるから、会議を減らす工夫も必要である。もし今までよりも回数で二〇%減らし、人数を二〇%減らし、時間を二〇%減らすことができれば、 $(0.8)^3 = 0.512$ で約半分の負担になるはずである。これならば心掛け次第でやってできないことはないと思うが…。

会議はむずかしい。だからこそ工夫と努力が必要なのである。